

水稻奨励品種決定圃の田植えをしました

農業農村支援センターでは農業試験場と連携して、水稻奨励品種決定試験の現地試験を実施しています。県で奨励している既存の品種を、栽培特性や品質、食味等が優れる新品種に替えて導入するための現地試験です。

今年度は、熟期が「あきたこまち」級の2系統を試験する他、当支援センターが今年度から重点活動課題として取り組んでいる酒米の生産振興を進める一環として、長野県が育成した良質な酒米「山恵錦」と育成中の品種を試験栽培してます。

5月26日に田植えをし、今後生育調査、収量調査をして、育成中の系統の評価と現地適応性を確認し、生産振興を進めてまいります。



大桑村に設置した水稻奨励品種決定圃の田植え風景